

若者における映画鑑賞の現状と今後の課題

私たちの生活の中に映画は、数多く存在するエンターテインメントと呼ばれる娯楽の代表的存在の一つであると同時に、幅広い支持を受けている。私たちは普段何気なく映画を観る際に、映画を鑑賞する手段の選択肢がいくつかある。映画鑑賞の手段が広がったことから、映画を鑑賞する受容環境が多様化、映画の楽しみ方が変化した。そこで、本稿では映画館の現状と映画鑑賞行為の変化から若者における映画鑑賞行為がどのように変化していくのかを明らかにすることを目的とした。そして、アンケートを用いて大学生における映画鑑賞の意識について調査した。その結果、スマートフォンや動画配信サービスの普及などにより、映像コンテンツの手軽さ・便利さにより本来の映画の価値や映画を観る体験が明らかになった。メディアの多様化に伴い、自宅で気軽に楽しめるエンターテインメントとして変化してきた。一方で、若者の間で映画に対して好きではないと思う人も少なからずいたことから、今後の若年層を確保する上でも映画館で映画を観る意味、つまり特別な体験を提供する場を作り続ける必要がある。